

国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
国語	現代文B	2	3年次・全	全員

目 標		履修の条件・連絡				
近代（明治時代）から現代までの優れた作品を読み味わうことによって、文章の内容を正しく理解する力を高めるとともに、興味の幅、知識を深め、自分の意見や感想を的確に述べる力を身に付ける。		・2年次からの継続履修である。				
使用教科書 (出版社)	高等学校 改訂版 標準現代文B (第一学習社)	副教材 (準備物)	ことのは 三訂版 (国語辞典・図説国語)			
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)		学習のねらい	
	1 学 期	4月	小説を読む 「ひよこの眼」		<ul style="list-style-type: none"> 現代の短編小説を読解する。 語り手の視点を意識し、登場人物の心理の変化を読み取る。 小説の主題に迫り、「他者とのかかわり方」「自己発見」などについて考える。 すぐれた短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞法を習得する。 それぞれの場面において、山椒魚の心情がどのように変化しているかを読み取る。 	
		5月	「山椒魚」			
		6月	短歌と俳句 「折々の歌」			
	2 学 期	9月	人間と社会 「経験の教えについて」		<ul style="list-style-type: none"> 近代俳句・近代短歌に親しむ。 優れた鑑賞文を読み、自分の感性を磨く。 経験と自己認識との関係について理解し、経験に学ぶことの重要性についてまとめる。 経験に学ぶことの重要性を、自己の問題として考える。 論理的な文章を読解する。 具体例と抽象的な記述との関係を理解する。 漢文脈を駆使した独特の表現を理解する。 主人公が虎になった理由について正確に読み取る。 主人公の自己省察を理解し、自分の生き方について考える。 現代詩の鑑賞の仕方を習得する。 繰り返し音読して、リズムや音感の特徴について考える。 詩に込められた作者の思いを読み取り、自己に引きつけて考える。 	
		10月	新しい視点 「記憶のゆがみ」			
		11月	小説を読む 「山月記」			
		12月	詩を味わう			
	3 学 期	1月	小説を読む 「卒業」		<ul style="list-style-type: none"> 働くこと、生きることをめぐる小説を読み、自分を取り巻く人間関係を見つめ直す。 自分の生き方について考える。 	
		2月 3月	家庭学習			
学 習 評 価	観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	規 準	予習課題や授業中の作業に丁寧に取り組んでいるか。 授業中に自ら挙手・発表をしているか。	他の人の意見をよく聞き、それに応じた発言ができているか。 聞きやすい声量・速さ・間の取り方で話しているか。	授業で学んだことを生かし、自身自身の経験や価値観に基づいて、自分なりの意見や感想を書いているか。	筆者の意見や文章の展開、描かれている場面の雰囲気、登場人物の立場や気持ちを理解しているか。	授業で習った漢字(熟語)の読み方・書き方、あるいは語句の意味を正確に理解し、使っているか。
	手 段	・授業中の活動 ・ノート点検	・授業中の活動	・定期考査 ・ノート点検	・定期考査 ・ノート点検	・定期考査 ・ノート点検
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査(年間5回) 70% その他(発表・提出物・小テストなど) 30% 				
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 日ごろから、本や新聞を読む習慣を身に付けよう。世の中の動きに関心を持ち、あらゆる問題に対して「深く考える」姿勢を大切にしよう。 漢字の読み書き、語句の意味調べについては、プリントを使った家庭学習課題が出されるので、そうした地道な作業を確実にこなしていこう(字は丁寧に書こう)。 週末課題・長期休業中課題も平常点として評価します。 					